

活動報告

<活動のテーマ>

色

<テーマの設定理由>

・様々な道具（絵の具・クレパス・ビニールテープなど）を使用しながら、色の違いや面白さに気づき楽しんでいけるようにするため

<活動スケジュール>

①4/14 クレパス遊び

②8/4 フィンガーペインティング

③10/29 絵の具遊び

<活動内容①>

令和25年4月14日 クレパス遊び

<準備品>

クレパス、画用紙、模造紙

初めてのぞうけいだったので、手の動きなども見ていくため子どもが描きやすい八つ切りの画用紙を用意する。

<活動の流れ>

手本で講師が点や線を描きながら、自由に描き進めていいことを見せる。また、描いたものが何に見えるのか等子どもに尋ね、想像力を膨らませられるような声掛けをしていく。その後一斉に描き始める。描いている時や出来上がった際に何を想像していたかを聴き取り、絵に保育者が記録する。

<子どもの様子>

講師が描く姿を見ていたことで、意欲が高まっており、席に着くと同時に勢いよく描き出す児が多かった。また、保育士に描いたものを説明しているうちにさらに描きたいものがでてくる児もいた。模造紙は会話を楽しみながらダイナミックに描いていた。

<子どもの声>

- ・「ぐるぐる〜」「あめだよ、ぽたぽた」「ザーザー」描きながら効果音をつけていた。
- ・「おおきいのかけるよ」とはりきって模造紙に大きく描き、保育者に見せていた。
- ・「うみはあおかな?」「ぜんぶピンクがいい」など色への関心やこだわりの声も聞かれた。



<振り返り>

3歳児になるとクレパスが個人持ちとなり、その喜びも相まって絵を描くことをたのしんでいた。また個人の八つ切という少し制限のある場所でじっくりと表現を楽しんだのち、模造紙で他児とも同じ空間で絵を描くことで、今度はダイナミックに色を重ねたり、大きく描くことを楽しんでいた。色にも関心を持ち、「ピンクいっしょだね」「ここ黒かな」など会話があった。

<活動内容②>

令和7年8月4日 ハンドペイティング

<準備品>

絵の具（赤、青、黄色）、模造紙、机、シート、スモック、皿

遊びやすいように机上で行える設定にした。

<活動の流れ>

場所は決めずに自由に掛けるようにした。三原色を使用することで、色としては強くはなるが、混ざる変化もわかりやすくした。

<子どもの様子>

- 絵の具を手で触れることを喜び、色を混ぜ合わせるのも手の平で行う姿があった。
手の汚れを気にすることなく、手に塗ってはスタンプのように模造紙に手形をとったり、そのまま手を思い切り広げて机いっぱい塗り広げていた。

<子どもの声>

- 「あおとあかでむらさきだね」
- 「みどりもできたよ」
- 「くろみたいになった」

など色の変化を声にする姿が多く聞かれた。



<振り返り>

色を混ぜる事での変化に気づきて遊べたのはよかったが、環境面で、机上で活動は集中して遊べたので良かったものの、思い切り表現を楽しむには、床にもシートを敷くなど工夫を必要であった。

<活動内容③>

令和7年10月29日 絵の具遊び

<準備品>

絵具（6色）、筆、画用紙、シート、雑巾

色が混らずに重ねて描いていけるように絵の具の濃度を濃い目作る。

絵の具で汚れる可能性を事前に保護者に伝えて、汚れてもいい服の協力をあおいだ。

<活動の流れ>

講師が筆の扱い方を伝えながら、手本として描いていく。

その後、自由床で描き始める。

<子どもの様子>

- はじめは手本で見たものを真似たり、塗り広げていたが、線の面白さ、色が混ざらずに絵が描けることに気づき始めると、個々で集中して描き進めていた。
- 色を重ねることに面白さを見出した子が多く、重ねて同じところに塗っていた。
- 濃い絵の具ではあるが、しっかりと伸びる濃度ではあった事で、画用紙の上を筆が滑るように描けることを楽しむ様子があった。

<子どもの声>

- 「トントントン」「ザーザーザー」筆に効果音をつけて楽しむ
- 「ピンクに緑描けた！」色が混ざらずにかけることを喜ぶ、また実感していた
- 「まぜられたよ」混ぜることに楽しみを見出し塗り広げる。



<振り返り>

絵の具がどの子も好きなので、意欲的な活動になっていた。色を混ぜるのではなく、重ねられることを不思議そうにする子がいたり、混ぜることを目的にきりかえていたりと個々に楽しみを見つけて行えたのはよかった。